

令和3年度 第1回静岡県多文化共生審議会

日時 令和3年7月12日(月)午前10時00分～正午
場所 静岡県庁別館9階 特別第1会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委員改選に伴う会長・副会長の選出
- 3 議事
 - (1) 多文化共生推進本部プロジェクトチームの取組（資料1～2）
 - (2) 多文化共生推進施策の進捗状況の評価（資料3～4）
 - (3) 次期「ふじのくに多文化共生推進基本計画」の策定に向けて
（資料5～6）
 - (4) その他

【配付資料】

- 資料1 令和2年度 静岡県多文化共生推進本部プロジェクトチームの対応実績
資料2 令和3年度 静岡県多文化共生推進本部プロジェクトチームの取組
資料3 「ふじのくに多文化共生推進基本計画」の概要
資料4 「ふじのくに多文化共生推進基本計画」進捗評価
資料5 次期「ふじのくに多文化共生推進基本計画」の策定に向けて
資料6 令和3年度 静岡県多文化共生審議会スケジュール

委員提供資料1 ブラジル人家族と危機

参考資料

静岡県多文化共生審議会 委員

任期（令和3年6月20日－令和5年6月19日）

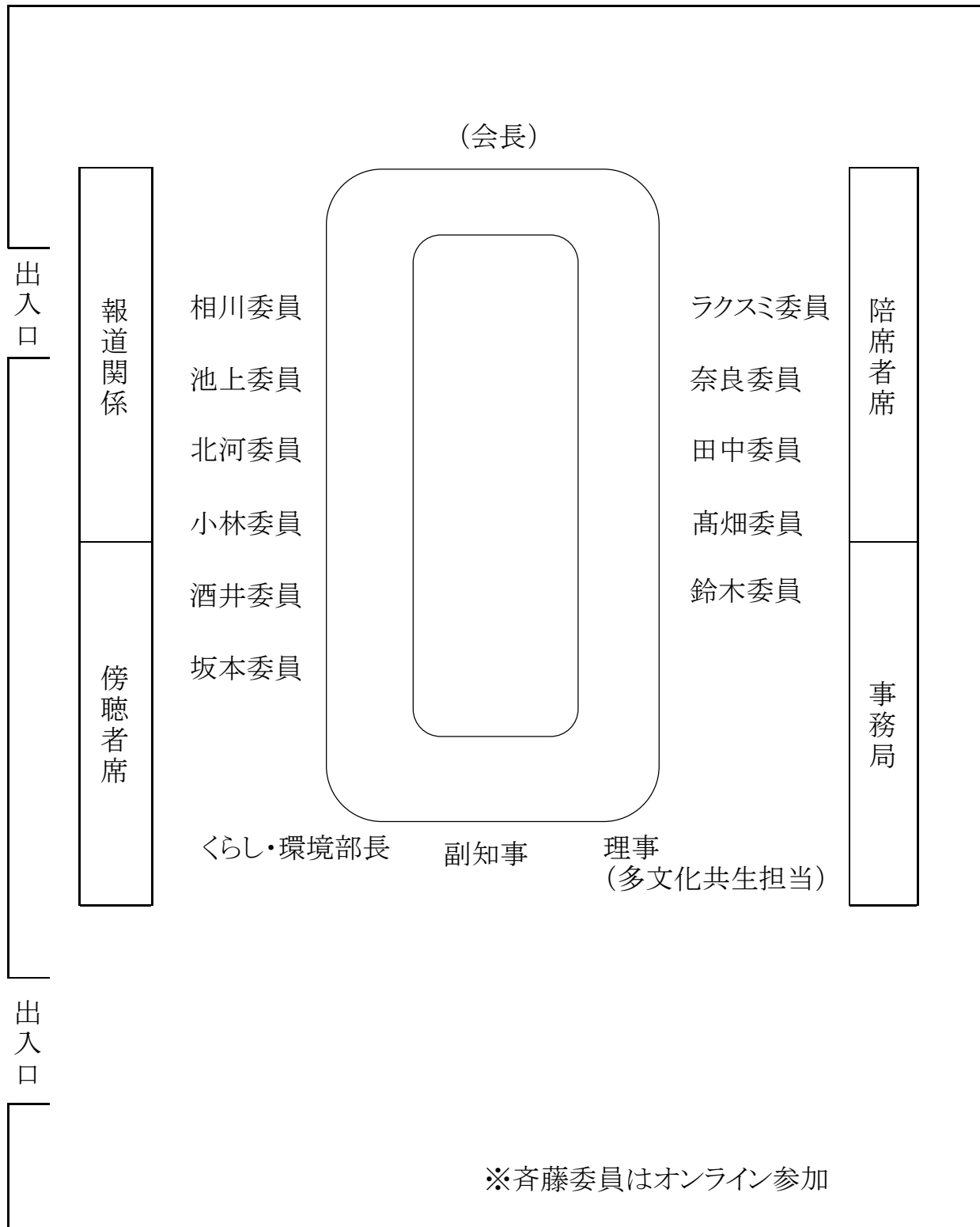
氏 名	現 職	新規 継続	出欠席
田平 相川 アンジェラ 明美	浜松磐田信用金庫 (一社) 磐田国際交流協会 理事 (ブラジル)	新規	出席
池上 重弘	静岡文化芸術大学文化政策学部 教授	継続	出席
王 萱(オウ カヤ)	(株)小林製作所 (中国)	継続	欠席
北河 実則	名古屋出入国在留管理局 首席審査官	新規	出席
小林 利彦	(一社)静岡県医師会 副会長	継続	出席
斉藤 薫	浜松商工会議所 副会頭	継続	出席 (オンライン)
酒井 公夫 (会長)	(一社)静岡県商工会議所連合会 会長	継続	出席
榊原 昭雄	沼津市自治会連合会 会長	新規	欠席
坂本 勝信	常葉大学経営学部 教授	継続	出席
鈴木 宏征	藤枝市立葉梨中学校 校長	継続	出席
高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部 教授	継続	出席
田中 恵子	(特非)浜松外国人子ども教育支援協会 (TOMO2) 顧問	継続	出席
土屋 真理	静岡県弁護士会登録司法通訳 (フィリピン)	継続	欠席
奈良 直紀	沼津商工会議所 副会頭	継続	出席
ラクスマ デワヤニ	静岡県多文化共生総合相談センター相談員 (ムスリム)	継続	出席

(50音順、敬称略)

令和3年度 第1回静岡県多文化共生審議会 座席表

日時 令和3年7月12日(月)午前10時～正午

会場 県庁別館9階 特別第1会議室



令和2年度 静岡県多文化共生推進本部プロジェクトチームの対応実績

PT	R2年度テーマ	実施状況	成果	課題
新型コロナ	新型コロナウイルスに関する外国人県民への対応	<ul style="list-style-type: none"> 多言語及び「やさしい日本語」での情報提供 新型コロナウイルス影響調査（6月、9月、12月、3月） 新型コロナウイルス多言語相談ホットラインの開設 新型コロナに負けない外国人生徒未来応援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 感染の拡大状況に応じた適時適切な情報提供を実施 影響調査の結果から、ホットラインの開設、未来応援事業を施行 24時間19言語で相談できる体制の確立 外国人学校2校の生徒に対し、正規雇用に向けた支援を実施し、課題を明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 更なる情報提供の充実強化 新たな影響把握の手法を検討 ホットラインは新型コロナウイルスが収束するまで継続 支援内容の改善を図り、正規雇用を実現
生活	外国人が安心して受診できる体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 電話医療通訳体制整備 日本の医療制度等を説明した多言語パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 電話医療通訳を21医療機関が利用 日本の医療制度等を説明した多言語パンフレットをやさしい日本語及び10言語で作成しHPで周知 	担当課において、電話医療通訳を利用する医療機関拡大のための取組強化
教育	不就学児童生徒の解消	<ul style="list-style-type: none"> R2不就学児童調査実施 市町へ訪問し対応策を共に検討 	市町訪問を実施することにより、市町の不就学児童数が減少	就学促進のための支援の強化
活躍	外国人児童生徒へのキャリア支援	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナに負けない外国人生徒未来応援事業【市掲】 外国人生徒みらいサポート事業 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人学校の生徒に対し、正規雇用に向けた支援を実施し、課題を明確化 日本語の習得及びキャリア形成の支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容の改善を図り、正規雇用を実現 保護者の就労に対する考え方や文化の違い等の問題に対して、正しい情報の提供、啓発、相談対応等の支援方法の方策を検討
危機管理	外国人県民への防災啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 防災アプリ多言語版の周知イベント開催 在浜松ブラジル総領事館と連携した防災山前講座 	防災アプリの活用を防災研修のメニューに盛り込み防災啓発を推進	<ul style="list-style-type: none"> 防災山前講座の参加者の増加 アプリの普及を推進
	災害情報等の多言語化	十砂災害警戒情報補足情報システムを英語・ポルトガル語・「やさしい日本語」で表示	十砂災害警戒情報補足情報システムの多言語化を完了	<ul style="list-style-type: none"> 十砂災害警戒区域標識等の設置とともに、システムの周知を推進 静岡県十木総合防災情報の多言語化
情報提供	情報提供基準の作成	「外国人県民への情報提供に関するガイドライン」の策定 地域日本語教育体制の構築	2月10日に知事部局、教育委員会及び警察本部が一体となった情報提供体制を構築 2市で初期日本語教室を開設、モデル教室の運営手法を確立	外国人県民の生活に関わる情報を集約し、効果的に提供できる体制の整備 県内全域での地域日本語教育の普及
共通	「言葉の壁のない静岡県」の実現	<ul style="list-style-type: none"> 「やさしい日本語」の取組 行政職員向け研修 おもてなし研修 コミュニティFM研修・番組作成 普及のための動画作成 	行政向け研修等に取り組むことにより県市町・企業等での活用を推進	「やさしい日本語」の更なる普及活用の推進